

経営比較分析表（平成30年度決算）

宮城県栗原市 栗原市立栗駒病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
68,328	4,954	第2種該当	10:1	

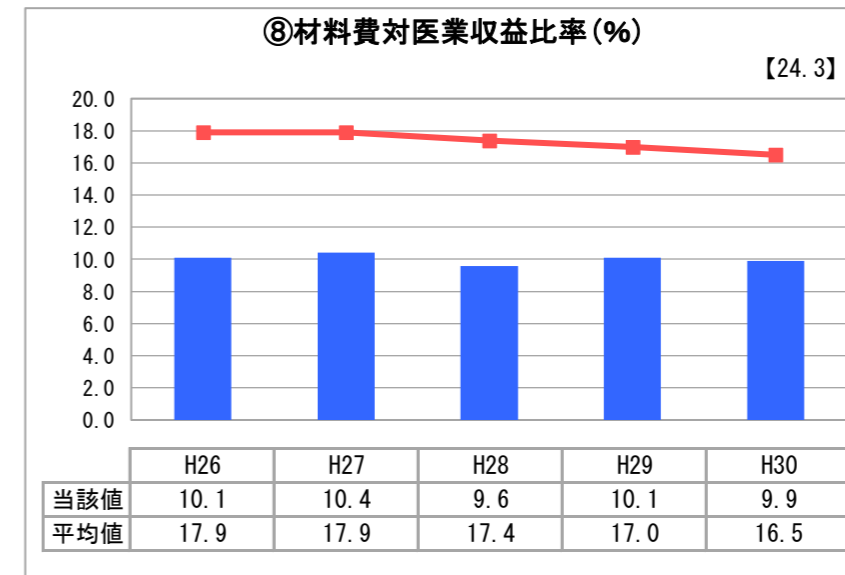
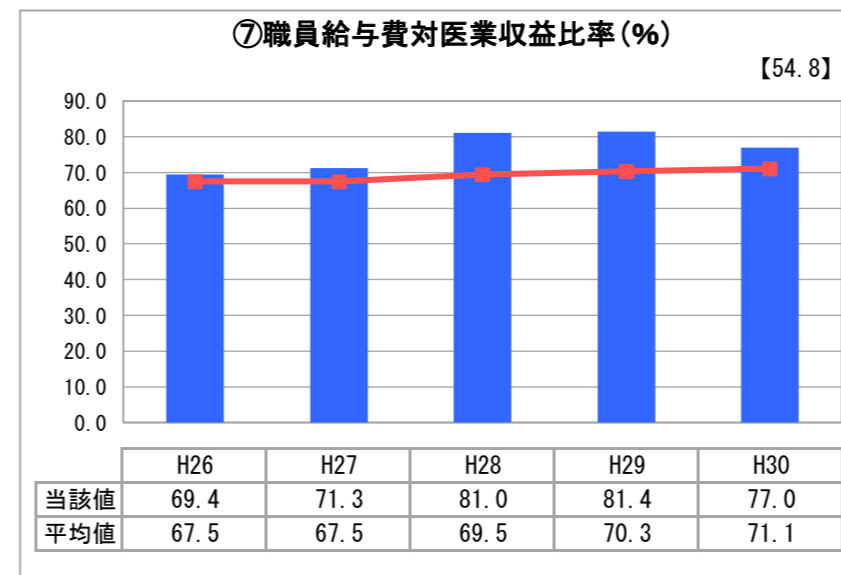
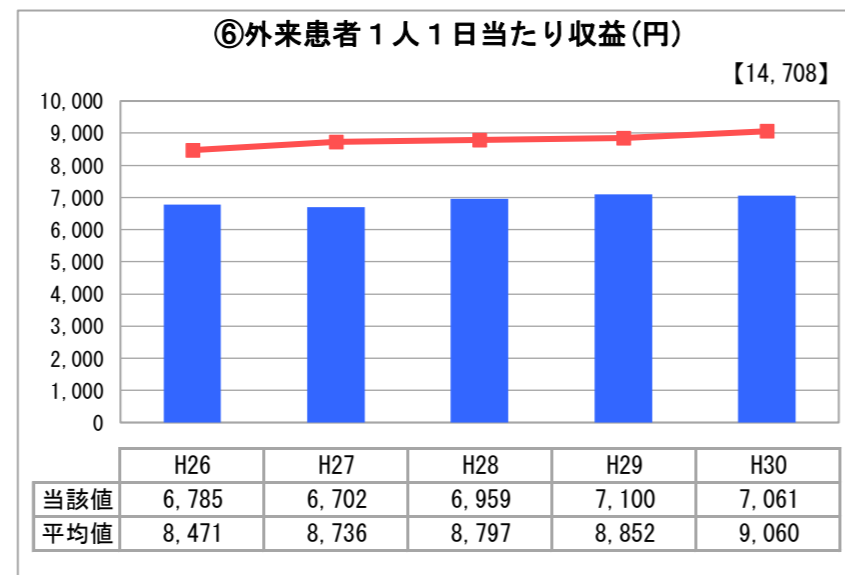
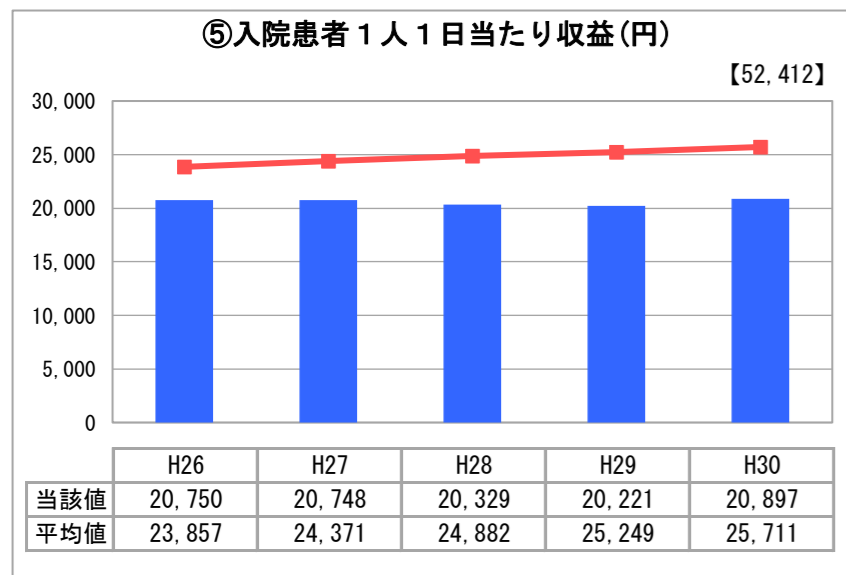
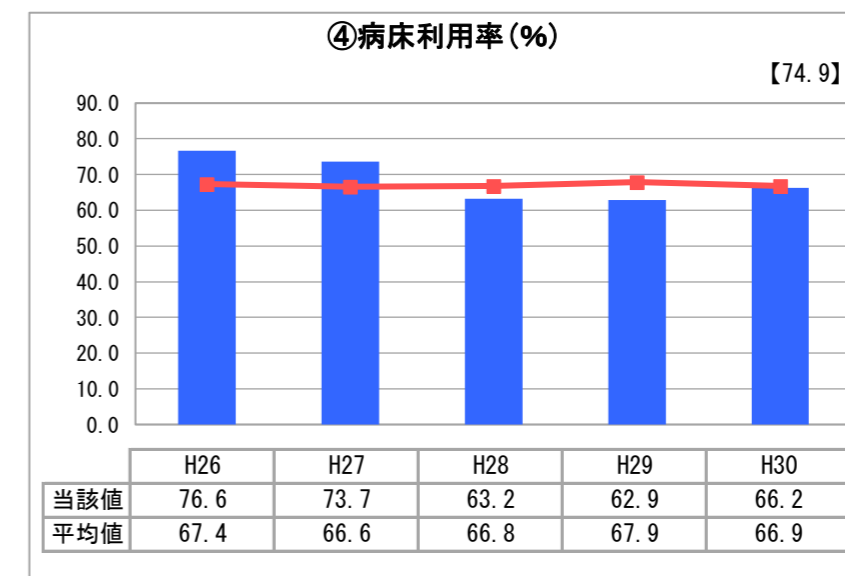
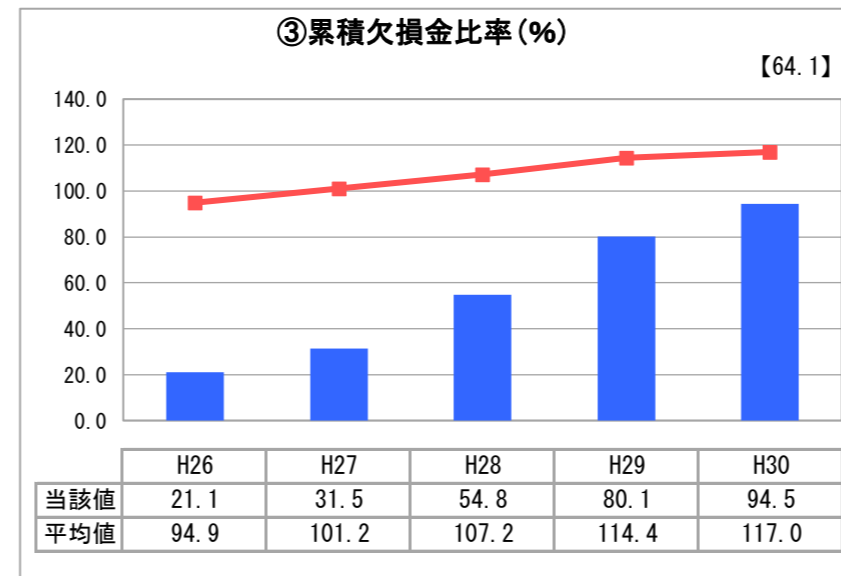
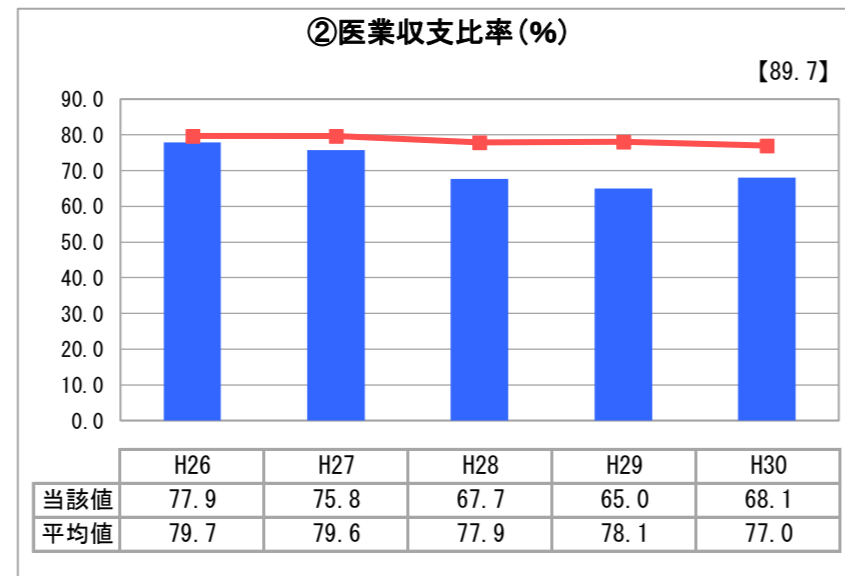
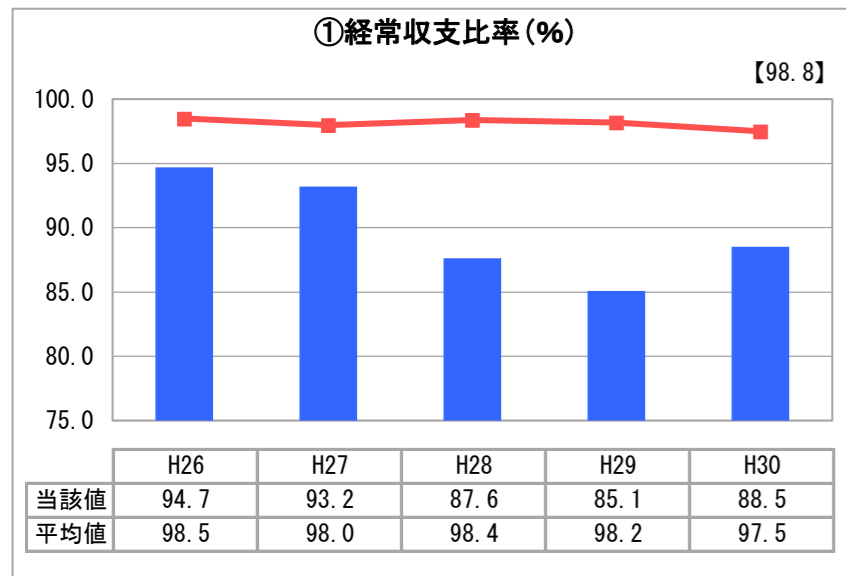
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

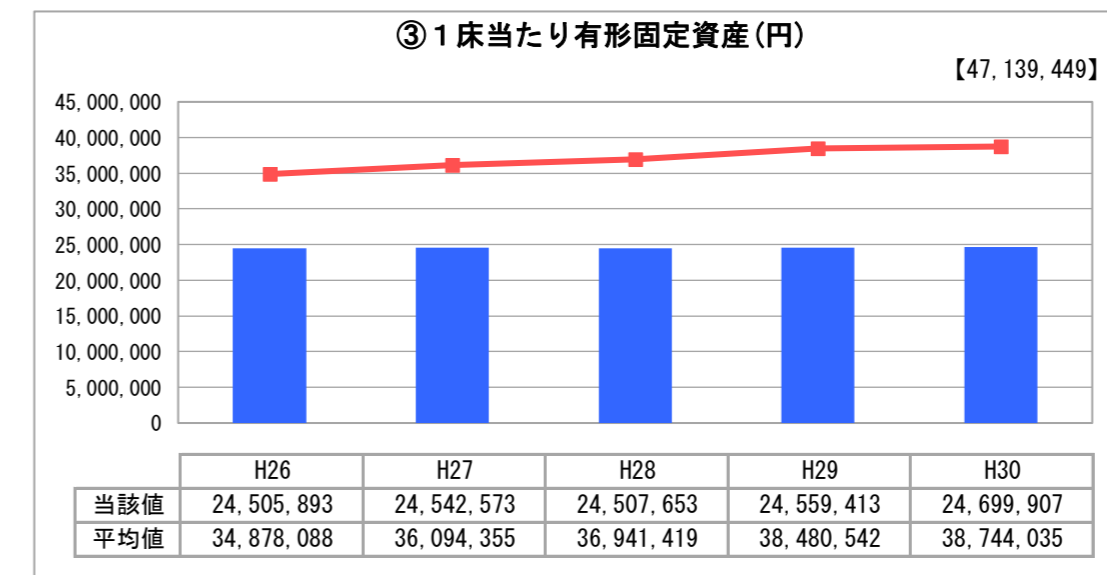
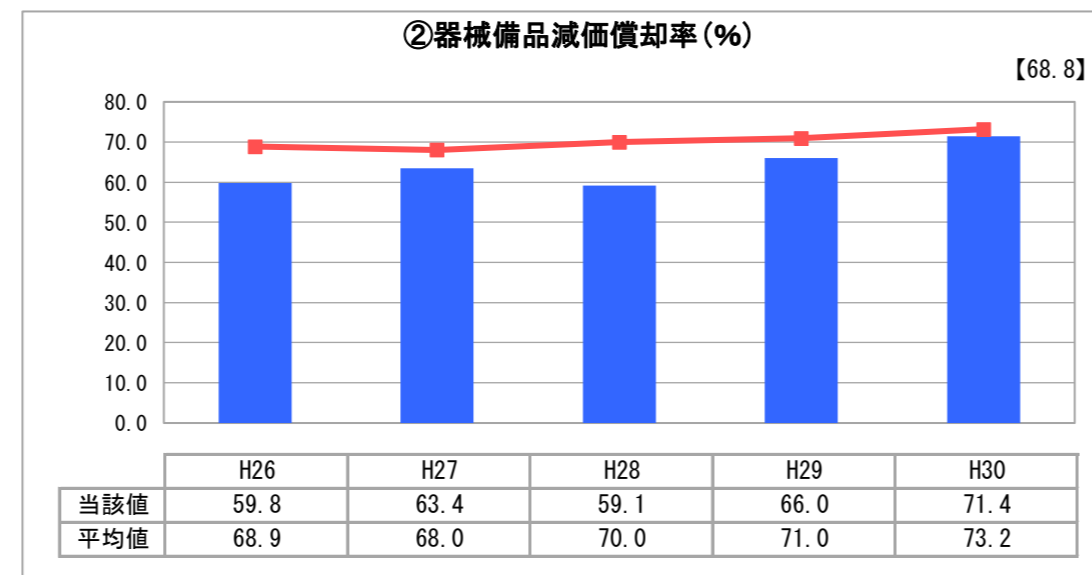
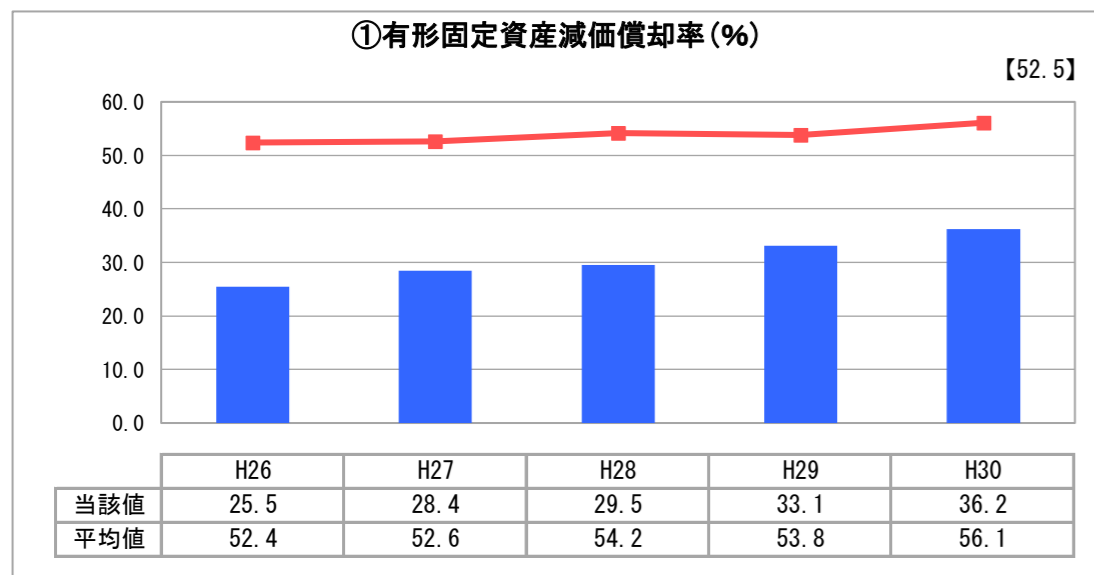
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
45	30	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	75
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
38	29	67

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

診療圏で唯一の入院施設の有る病院として、診療圏内の診療所や介護施設において入院治療が必要と判断された患者について、受け入れてもらえる入院施設として住民の安心安全に貢献している。
この診療圏の高齢化少子化に対応する介護施設、療養施設としての役割が必要となる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

患者数減少の最大の要因は人口減少によるものと考えられる。
医療スタッフの高齢化により給与費率が増加しているため市立病院間の人事交流が必要と考える医師の高齢化により診療を抑制せざるを得ないので、若年層医師の確保が必要と思われる。
今後は、実質の入院患者数に合わせた規模縮小の検討を行う。

2. 老朽化の状況について

病院新築時に購入した医療機器が耐用年数を超え始めている為、将来構想を見据えた医療機器の更新が必要となっている。
病院本体の空調設備についても耐用年数を超えてきており、室外機・室内機共に故障はじめてきているので、定期的な修繕が必要となってきている。
病院本体の設備に関しても、故障や修理や交換が必要な部も増え続けてきている。
今後、大規模修繕を見据えて、計画修繕も考慮していかなければならない。

全体総括

診療圏の人口の減少に伴い、患者数も確実に減ると考えられるので、地域の患者需要に応じた病床数の削減が必要と思われるが、まずは医師の招聘が喫緊の課題となっている。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。